

平成29年度

地籍調査を加速化します！

災害復旧対策としての地籍調査の強化



平成29年5月1日

地籍調査への取り組み

津市の地籍調査の取り組み

南海トラフ大地震に伴う津波災害に備え、沿岸部を重点整備区域と定め、平成27年度に策定した津市地籍調査事業計画に基づき、平成27～36年度までの **10年間で集中実施！**

津波災害時のライフライン等の速やかな復旧・復興

災害復旧・復興の迅速化

被災後は道路等のライフラインの復旧・復興が急務

インフラ整備の円滑化

インフラ整備では、事業区域に係る用地調整が必要

地籍調査が実施済であれば・・・

土地の境界確認や調査測量などを省略できるため、**事業期間が大幅に縮減**できる

用地リスクが少ない**事業計画の策定**ができるほか、**用地取得が円滑に実施**できる



重点整備区域内の状況

計画全体面積
26km²

=

地籍調査(津市)
3.71km²

+

官民境界等
先行調査(津市)
11.62km²

+

津地方法務局
調査
2.66km²

+

既調査済み
8.01km²

都市部官民境界基本調査
(国土交通省)



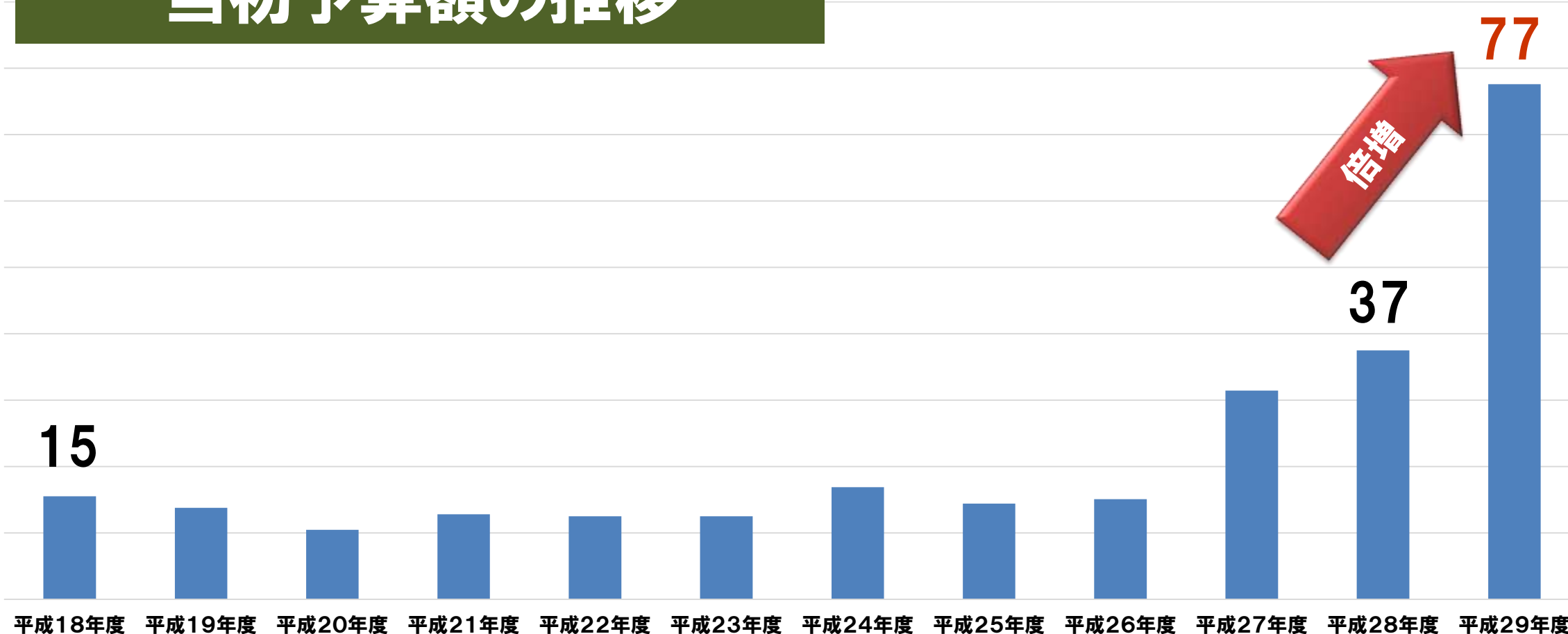
地籍調査の推進①

当初予算を倍増

国に対し積極的な要望活動を行い財源確保を行ったうえで、
平成29年度予算額を **約2倍**（当初予算比）に！

当初予算額の推移

（単位：百万円）



地籍調査の推進②

体制の強化

「用地・地籍調査推進室」 を新設

平成28年度
建設政策課調査担当
3人で取り組み

平成29年度
新たに「用地・地籍調査推進室」
を設置し、地籍調査専任担当者を
6人に倍増

法務局OBを非常勤参与 として配置

法務局より、登記事務の専門家
であるOBを**2人**迎え入れ、
非常勤参与として配置！

松山芳和 前職：津地方法務局次長

篠原敏彦 前職：津地方法務局松阪支局長

法務局との密接な連携を図るとともに担当職員の専門性を
更に高め、地籍調査をより**強力に推進**します！

重点整備区域の進捗状況

地籍調査事業

(実施主体:市)

境界立会・地籍測量の実施

平成27年度

香良洲町:稲葉地区

平成28年度

香良洲町:川原地区・小松地区

進捗率 **3.29%**
(平成28年度末見込み)

地元のみなさまのご協力により、
ほぼ100%の立会率で調査を実施

都市部官民境界基本調査

(実施主体:国土交通省)



【要望中】(液状化対策)
河芸地区

【要望中】(南海トラフ型)
白塚・栗真・
北立誠・橋内地区

【実施中】(南海トラフ型)
白塚・南立誠・
雲出地区

【実施済】(南海トラフ型)
高茶屋・雲出・
香良洲地区

平成29年度の事業計画

香良洲地域

【境界立会・地籍測量】
桜町地区・地家地区
砂原地区・浜浦地区

【閲覧】
稲葉地区
川原地区・小松地区



2年目

2年目～3年目

事業完了

1年目

事業着手

・基準点の設置

・境界立会
・地籍測量

・地籍図の作成
・地籍簿の作成

境界立会には地元のみなさまのご協力が不可欠です。
ご協力をお願いします。



モーターボート競走事業会計

財務適用後1カ月 見えてきた課題と解決



平成29年5月1日

モーターボート競走事業の概要

昭和27年7月4日

初代スタンド棟 登録公認第1号として岩田川河口で初レース

昭和44年6月

旧スタンド棟 岩田川河口から津市藤方へボートレース場を移転

平成12年3月

新スタンド(現在) 第1期工事完成(第2期工事:平成14年7月完成)

平成23年9月10日

外向発売所(津インクル)を開設 年間約360日発売

場外発売場のオープン

平成27年8月11日 ミニボートピア名張

ボートレース津初

平成29年3月24日 チケットショップ養老

岐阜県内初

今年で65周年

平成29年4月1日 **地方公営企業法**を適用開始(競艇事業部を改編)

地方公営企業法を適用するメリット

地方公営企業法の適用に伴い

現金主義会計

現金の収支に伴い
計上

発生主義会計

経済活動の発生という
事実に基づき記録

ボートレース事業の
ような公営企業は、
現金主義に見られ
ない多くの特色があ
ります

●財務分析を行うには、発生主義会計にある損益計算書を始め、貸借対照表の把握が必要

●その指標に基づき適切な経営判断が可能であることから地方公営企業法の適用を開始

	特別会計	地方公営企業法
会計	現金主義会計	発生主義会計
簿記	単式簿記	複式簿記
財務諸表	損益計算書	損益計算書 貸借対照表 キャッシュフロー計算書

発生主義会計の主な変更点

損益計算書

<特別会計>

歳入

- 入場料
- 勝舟投票券発売収入
 - うち本場売上収入
 - うち場外売上収入
- 財産収入

歳出

- 総務費
- 事業費
- 施設費
- ⋮

公債費 元金

歳入 = 歳出

<企業会計>

売上高(営業収益)

▲原価

(開催費、場外発売場事務受託費)

売上総利益

▲販売管理費(施設管理費、
競走実施費、販売促進費、総係費)

減価償却費

営業利益

営業外収益(使用料等)

▲営業外費用(企業債利息等)

経常利益

特別利益

▲特別損失(退職引当金)

**歳入 =
歳出 + 単年度純利益**

**売上総利益・
営業利益**

ボートレース事業の
本業の損益

経常利益

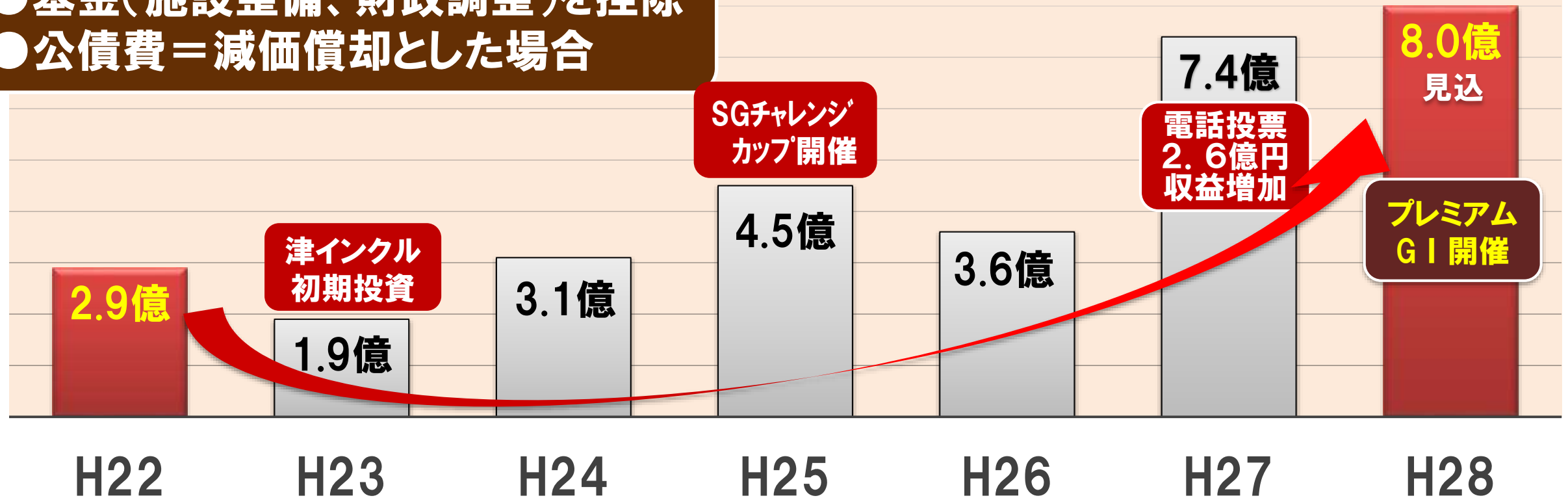
ボートレース事業の
本業に加え、土地の
使用料などを含めた損益

当年度純利益

1年間の全ての損益
の結果

単年度純利益に換算すると（平成22年度～平成28年度）

- 基金（施設整備、財政調整）を控除
- 公債費＝減価償却とした場合



平成23年9月
外向発売所（津インクル）オープン
年間約360日発売
収益は166.5%増（H22年度比）

電話投票は、近年の需要に加え
ホームページリニューアルによるスマート
フォン対応を図るなどにより、収益は
247.6%増（H22年度比）

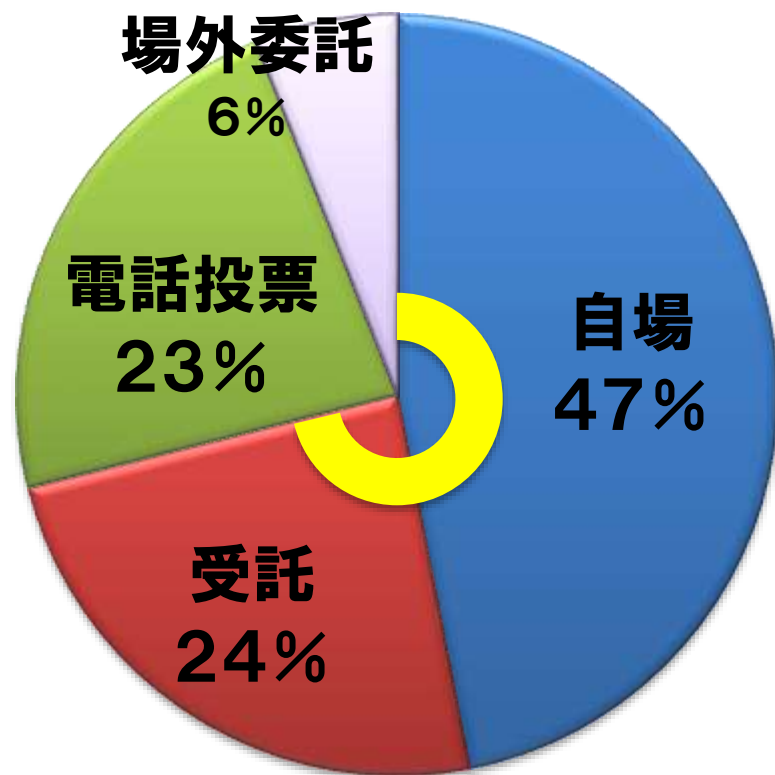
平成27年8月に場外発売場（名張）を
オープンするなど新たな収益を確保

経営努力により、収益は大幅に改善

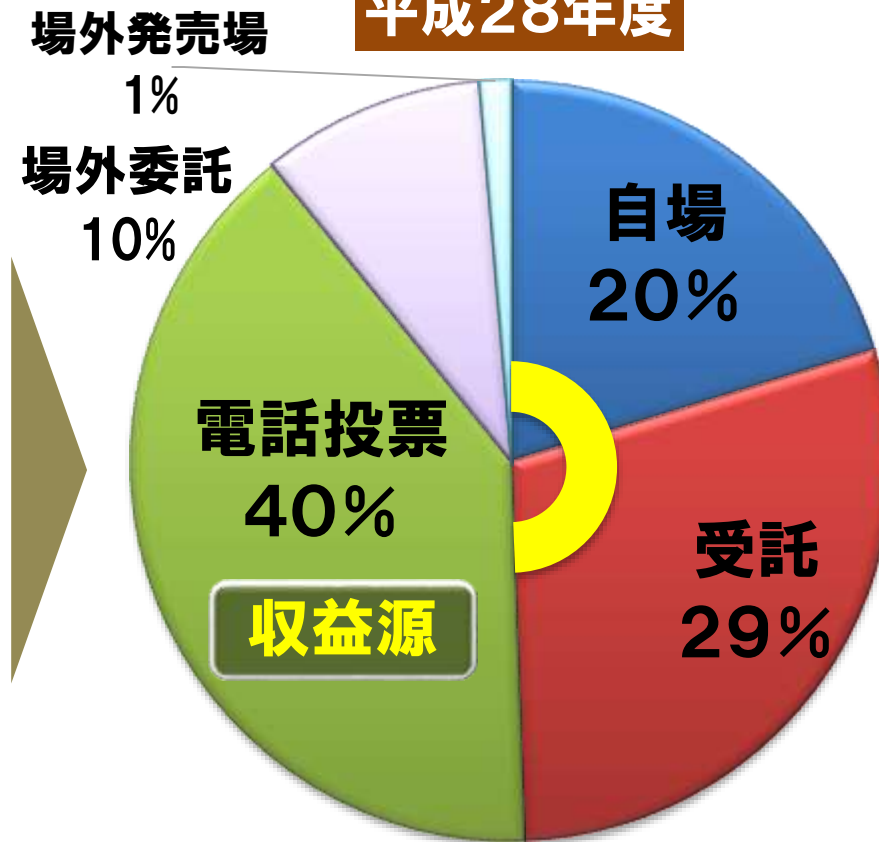
単年度純利益の内訳を形態別に比較すると

この7年で収益の主力は自場**47%** (H22) ▶ 電話投票**40%** (H28) に移行

平成22年度



平成28年度



- **自場**
主にスタンド棟で発売
- **受託**
他のボートレース場で開催したレースを外向発売所で発売
- **電話投票**
パソコン、スマートフォンで発売
- **場外委託**
他のボートレース場で発売
- **場外発売場**
名張・養老で発売

- ボートレース津に来場し発売した割合(自場+受託) **71% ▶ 49% (▲22ポイント)**
- 1日当たりの来場者数 **2,419人 ▶ 1,565人 (▲35%)**

単年度純利益は大幅に改善。一方で、来場者は減少傾向

貸借対照表 平成29年度当初予算

「単位:百万円」

資 産 の 部			負 債 の 部		
固定資産	土 地	1,498	固定負債	企業債	1,064
	建 物(付属建物)	7,763		リース債務	275
	機 械	306	合 計		1,339
	船舶・工具	58	流動負債	企業債	272
	リース資産	767		リース債務	286
	出資金	40		未払金	3,488
	基 金	2,300		その他流動負債	95
合 計		12,732		長期前受金	319
流動資産	現金預金	1,009	合 計		4,460
	未収金	3,186	負債合計		5,799
	その他流動資産	32	資 本 の 部		
合 計		4,227	資本金	これまでの利益 約111億円	11,160
資産合計		16,959	負債・資本合計		16,959

- 施設全体 約103億円 < 資本金 約111億円
- 現金合計 約33億円 > 債務 約19億円

主な指標

- 自己資本比率 65. 8%
- 固定比率 93. 1%(100%以下)

地方公営企業法を適用したことで見えてきた2つの課題

スタンド棟

●スタンド棟の本場売上・入場料の減少

	平成22年度		平成28年度	
本場売上	77.4億円	⇒	47.6億円	▲38%
入場料	88百万円	⇒	56百万円	▲36%

●施設の老朽化による維持管理コスト増

	取得原価	償却累計額	帳簿価格
建 物	103.2億円	36.2億円	66.9億円
付属建物	61.4億円	56.9億円	4.3億円
合 計	約164億円	約93億円	約71億円

建物(付属建物)の償却済額は、総額約93億円。その内、付属建物(電気設備、空調設備)の償却が、平成29年に終了

再投資額は、約56億円が改修に必要な積立額(固定資産の評価は、公認会計士が調査確認)

施設整備に係る積立金

施設整備基金積立額の 積立額は23億円

付属建物の再投資額は約56億円
緊急に備えるための改修資金を確保。計画的に施設改修しながら積立を増やします

	平成22年度	平成28年度
基金	0億円	23億円

今後の施設整備は、来場者、施設の維持コスト、施設整備基金の積立額を踏まえ、計画を進めます

【老朽化している主な施設】

昭和44年5月 競技棟

昭和57年4月 管理棟

企業会計導入後も、費用対効果を検証し適正な改修をしながら、積立も増やします

ボートレース事業部の課題の取り組み

H22
経営改善
に向けた
取組

H28
繰出金
1億円

H29
施設整
備計画

H36
スタンド棟
企業債
完済

① 津市財政への貢献を継続

平成28年度から1億円繰り出し、今後も引き続き繰り出しします

② ボートレースファンに楽しんでいただけることを常に考えます

親から子へ、子から孫へ親しまれるボートレース場を目指します

③ 経営基盤の強化

- スタンド棟の修繕計画
- 老朽化した整備棟の改修

平成29年度に施設整備計画を策定

さまざまな施設の在り方を検討

- ボートレース場の駐車場に店舗誘致
- ボートレース場の一部を公共施設として提供
- ファミリールームの新設

平成29年度中に施設整備計画策定後に施策を具体化

- 施設整備基金(建設改良積立金)
- スタンド棟の企業債の完済に向けて

施設整備基金23億円に加え積立を増やします

スタンド棟の企業債は平成36年で完済
将来に向けた施設整備の財源確保

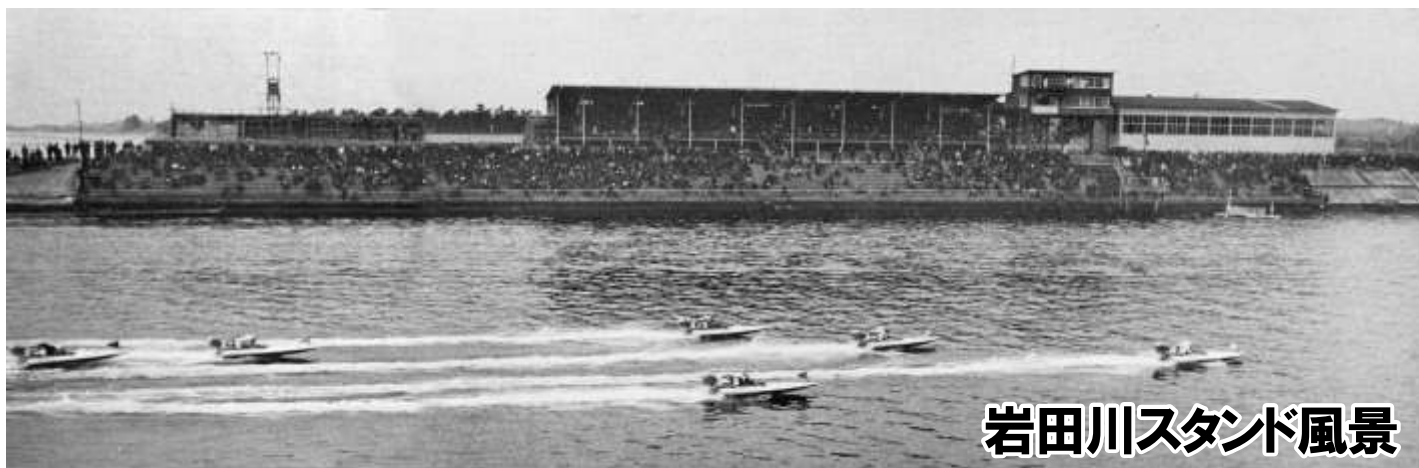
ご来場を、お待ちしております！

～平成29年7月4日はボートレース津65歳の誕生日～

親から子へ、子から孫へ親しまれるボートレース場を目指して

日本財団会長杯争奪戦の開催期間中
【平成29年6月29日(木)～7月4日(火)】

- 入場料が**無料**
- 有料指定席Bが**半額(500円)**
- ボートレース津の歴史を振り返る**パネル展を開催**



津なぎさまち

**平成28年度の高速船利用者数が
過去8年間で最大に！**



平成29年5月1日

高速船利用者数の推移

平成28年度の高速船利用者数

式年遷宮が行われた平成25年度を上回る**277,590人**が利用

平成25年度（式年遷宮）と比べて・・・**約0.1% 192人の増加**

平成27年度（前年度）と比べて・・・**約6.0% 15,732人の増加**

年度	津発	空港島発	年度計	1日平均	H25年度比 (1日平均)
H21年度	132,608人	131,469人	264,077人	723人	95.1%
H22年度	140,727人	136,296人	277,023人	759人	99.8%
H23年度	134,445人	130,373人	264,818人	724人	95.2%
H24年度	136,798人	131,525人	268,323人	735人	96.7%
H25年度 (式年遷宮)	141,059人	136,339人	277,398人	760人	100.0%
H26年度	133,839人	128,697人	262,536人	719人	94.6%
H27年度	132,874人	128,984人	261,858人	715人	94.0%
H28年度	140,061人	137,529人	277,590人	761人	100.1%

こどもの日(5月5日)限定のお得な情報

津エアポートライン株式会社

小学生乗船無料 キャンペーン

保護者1名に対して
同伴する小学生1名が無料

高速船のペーパークラフト プレゼント

津なぎさまち及び空港島旅客船
ターミナルにて、始発便から小学
生各先着100名に、
高速船のペーパー
クラフトをプレゼント



時刻表及び料金表

中部国際空港(セントレア)発 津なぎさまち行き		津なぎさまち発 中部国際空港(セントレア)行き	
セントレア発	津なぎさまち着	津なぎさまち発	セントレア着
7:00	7:45	6:00	6:45
8:00	8:45	7:00	7:45
9:00	9:45	8:00	8:45
10:00	10:45	9:00	9:45
11:00	11:45	10:00	10:45
12:00	12:45	11:00	11:45
13:00	13:45	12:00	12:45
14:00	14:45	13:00	13:45
16:00	16:45	15:00	15:45
17:00	17:45	16:00	16:45
18:00	18:45	17:00	17:45
19:00	19:45	18:00	18:45
20:00	20:45	19:00	19:45
21:00	21:45	20:00	20:45
22:00	22:45	21:00	21:45

	津なぎさまち 中部国際空港
大人	2,470円
小人(小学生)	1,240円
特別席	+520円

津なぎさまち活性化イベントの開催

津なぎさまちイメージアップ
事業実行委員会

津なぎさまち活性化イベント「SEA LINK」の開催

日時 平成29年5月7日(日)10時～15時

場所 津なぎさまち内旅客船ターミナル及び
その周辺

内容

- 出展コーナー（地元グルメ・体験）
- フリーマーケット
- クラシックカーカフェ
- フィッシングチャレンジ など



津なぎさまちでは、今後も継続して
毎月第1日曜日に「SEA LINK」を開催

津なぎさまち
活性化
イベント

津なぎさまちを
人の集う場所
にしよう!

2017
5/7 日

開催時間 10:00~15:00
開催場所 津なぎさまち内旅客船
ターミナル及びその周辺
※雨天中止

展示やふれあい
体験・販売など
盛りだくさん♪

フリーマーケット
約20店舗
の出店!

クラシックカーカフェ
10:00~13:00
クラシックカーで遊びに来てくれた方に
コーヒーをプレゼント! (先着20名)

津なぎさまちフィッシング倶楽部
釣りをして海の生態を学ぼう! ※受付は車庫にて
釣り場は、コンクリートロードの畔を1セット
なまきまにほどな釣が出来るかな?
釣ってみよう! (釣り具は各自で持参してください)

出店コーナー
● TOGO
● 伊つこ屋
● Lunetta
● HANU
● YUKA KAWASAKI
● 花子屋
● 花子屋
● 花子屋

会場MAP

次回2017年6月4日開催

【主催】津なぎさまちイメージアップ事業
実行委員会

お問い合わせ
高尾ヤシカールサービス TEL. 088-213-1188
津なぎさまちイメージアップ事業実行委員会事務局
TEL. 088-229-3180

お伊勢さん菓子博2017で高速船をPR

平成29年4月29日(土・祝)に
「お伊勢さん菓子博2017」の津市PRイベント
において、高速船の利用をPR



三重交通株式会社により
津なぎさまちから
伊勢市駅・伊勢神宮までを結ぶ
「神宮リムジンバス」を運行

セントレアから お伊勢さんへ

高速船と神宮リムジンバスで行く

最速 2時間!









神宮リムジンバス車内では、
インターネットも充電も
無料でご利用いただけます。一部の車両はWi-Fiも。

中部国際空港 ⇄ 伊勢市駅・伊勢神宮 間が
津エアポートライン高速船と三重交通神宮リムジンバスを乗り継いで、便利に移動出来るようになりました。

時刻表

中部国際空港 ⇄ 津なぎさまち(のりかえ) ⇄ 伊勢市駅・伊勢神宮

行先	1番	2番	3番	4番
中部国際空港	10:00	12:00	14:00	16:00
津なぎさまち	10:45	12:45	14:45	16:45
のりかえ	▼	▼	▼	▼
伊勢市駅	10:52	12:52	14:52	16:52
伊勢神宮	12:02	14:02	16:02	20:02
外宮	12:07	14:07	16:07	—
内宮	12:23	14:23	16:23	—

伊勢神宮(伊勢市駅) ⇄ 津なぎさまち(のりかえ) ⇄ 中部国際空港

行先	1番	2番	3番	4番
内宮	—	13:05	15:05	17:05
外宮	—	13:17	15:17	17:17
伊勢市駅	9:25	13:25	15:25	17:25
津なぎさまち	10:35	14:35	16:35	18:35
のりかえ	▼	▼	▼	▼
津なぎさまち	11:00	15:00	17:00	19:00
中部国際空港	11:45	15:45	17:45	19:45

運賃表

運賃	大人片道	小人片道
神宮リムジンバス	1,500円	750円
高速船	2,470円	1,340円
セット券 神宮リムジンバス + 高速船	3,200円	1,600円

※セット券の乗車券は(当日有効のみ)
 ※1歳未満の子供は乗車不可
 ※伊勢市駅、外宮、伊勢神宮、内宮は乗車不可
 ※神宮リムジンバスは伊勢市駅・伊勢神宮・外宮・内宮のみ
 ※伊勢市駅・伊勢神宮・外宮・内宮は乗車不可
 ※伊勢市駅・伊勢神宮・外宮・内宮は乗車不可
 ※伊勢市駅・伊勢神宮・外宮・内宮は乗車不可

■ 高速船は予約制です。1日1回乗車がある運賃は予約なしでも乗車はいただけます。1回に定員に満たない場合は乗車はできません。1回に定員に満たない場合は乗車はできません。1回に定員に満たない場合は乗車はできません。

TEL 059-213-4111

お問い合わせ



都市計画部 交通政策課

電 話 059-229-3180

ファクス 059-229-3336

E-Mail 229-3289@city.tsu.lg.jp

高速船に関するお問い合わせ

津エアポートライン株式会社

電 話 059-213-6582

<http://www.tsu-airportline.co.jp/>